

はつ くつ

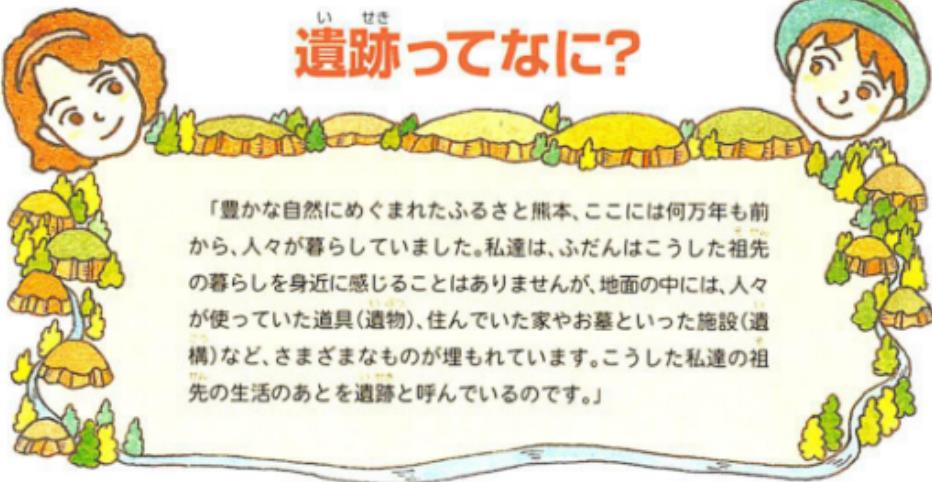
発掘現場へ ようこそ

みんなの身近なところで
遺跡の発掘調査がおこなわれています。
調査現場では毎日新しい発見があります。
歴史調査の最前線をのぞいてみませんか？



熊本県教育委員会

い　せき 遺跡ってなに?



「豊かな自然にめぐまれたふるさと熊本、ここには何万年も前から、人々が暮らしていました。私達は、ふだんはこうした祖先の暮らしを身近に感じることはありませんが、地面の中には、人々が使っていた道具(遺物)、住んでいた家やお墓といった施設(遺構)など、さまざまなものが埋もれています。こうした私達の祖先の生活のあとを遺跡と呼んでいるのです。」

はつ　くつ なぜ発掘をするの?



はつくつ 発掘調査では、昔の生活の様子を探ることが主な目的です。

時代ごとに発見される家や道具の変化から、人々がどんな暮らしをしてきたか、進歩のありさまをたどれるのです。さて、

はつくつ 発掘によって知られる昔の暮らしの特徴は、自然をうまく自

分の生活に取り入れる点にありました。たとえば、湿度の高い日本の気候に合わせた風通しのよい家作り、地形や水の便を利用した米作り、そして季節ごとに最もおいしいものを食べる食生活。自然のめぐみで生きることは、おのずと自然を尊ぶ心にもつながっていました。私達は、科学技術の発展によって便利な暮らしを手に入れる一方、大切なものを数多く失いました。はつくつ 発掘調査は「暮らしの原点」と、自然との調和を大切にする祖先の知恵とを、きっと私達に教えてくれるはずです。

そぞん



絵で見る歴史年表



はつ くつ

発掘調査って どうやるの?

「発掘はていねいに掘って正確に記録するという、細かな作業の連続です。また、屋外でおこなう作業のため、夏や冬の調査はとてもたいへんです。」

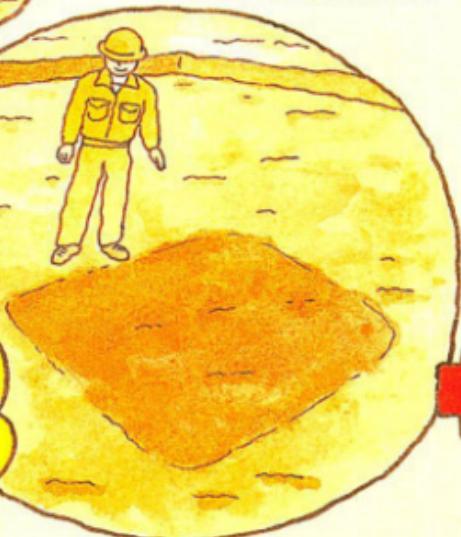
1. 表土はぎ取り

現代の地層をパワーショベルで
一気に掘ってしまいます

2. 遺構確認

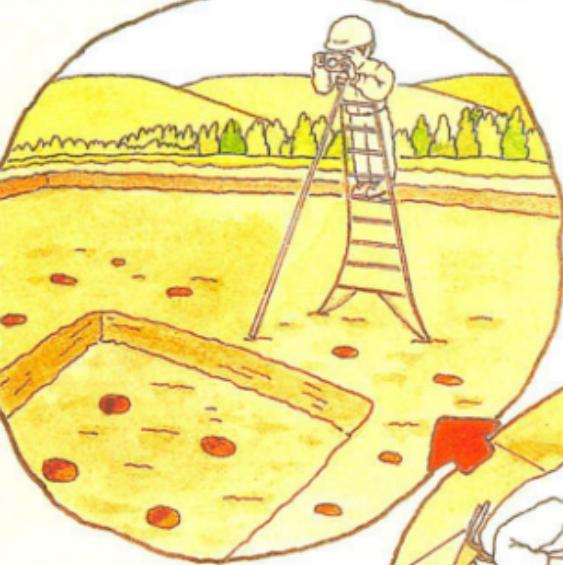
昔の家のあとなどを探します

あー、
土の色が違つて
る



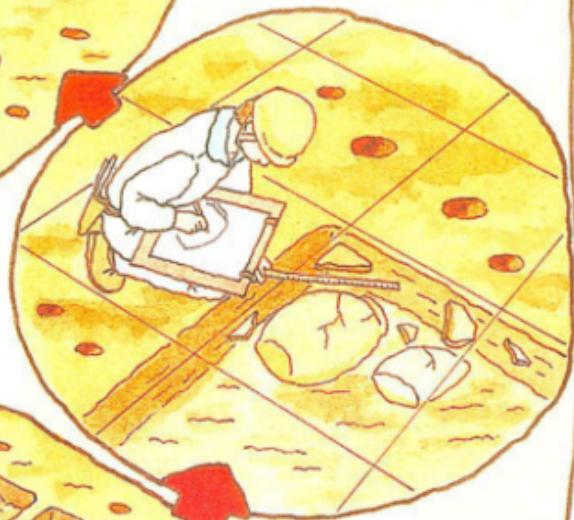
5.写真

（じゆう）（しゃしん）
遺構や遺物の様子を
撮影します



4.実測

（じつそく）（じくさく）
遺構や遺物の大きさや高さを
測って図に表します



3.掘り下げ

（くわいげき）
移植ごてなどでていねいに
掘っていきます





い　ぶつ 遺物が よみがえるまで

「割れた土器をパズルのように組み合わせて復原します。この作業は、発掘調査にかかったのと同じくらいの時間がかかります。博物館に展示されている遺物はこのようにしてできあがるのです。」

1. 水洗い

土器についた泥をていねいに洗い流します

2. 接合

土器のかけらを組み合わせてもとの形にもどします



5.博物館での展示

どき はくじゆ
土器などの発掘の成果を博物館
に展示します

4.報告書作成・研究

けいがく
遺跡の記録を本にまとめ、発表します

3.実測

じつそく
土器の形を正確に図面に
表します



Q&Aコーナー

はっくつ

発掘現場には、色々と不思議なことがあります。

みなさんが感じる疑問をわかりやすく説明してみましょう。



遺跡のある場所はどうしてわかるの?

落ちている土器のかけらが手がかり

外から見える古墳などをのぞき、地下の遺跡は見ることはできません。しかし、遺跡のある場所では、地面をていねいに観察すると、小さな土器のかけらが落ちていることが多いのです。このようにして遺跡をおおまかに探したあとで、部分的にためし掘りすることで遺跡を確かめるのです。



穴のあとがどうしてわかるの?

穴の埋まったあとは土の色が周囲と違うのです

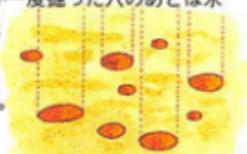
遺跡の中の穴は、昔の人が掘ったそのままの形に、ていねいに掘り返したもので、自然に埋もれた地層と、人がいたん掘った穴が埋まっているものは、土の色やかたさがわずかに異なります。遺跡の地面をていねいにならして削ると、その違いがわざかにわかるのです。



たくさんの穴はいったい何ですか?

地面に残された人々の生活のあとです

遺跡の中の穴は、人々が地面につけたキズあとです。大きな四角や丸い穴は家のあと、そして小さな丸い穴は、建物の柱が立てられていた穴だったりします。穴には何千人も前のものから、最近作られた「ゴミ捨て穴」までたくさんあります。人が一度掘った穴のあとは永久に残るので、遺跡の中は穴だらけになっているのです。



土器などの年代はどうしてわかるの?

埋まっている地層の深さなどからわかります

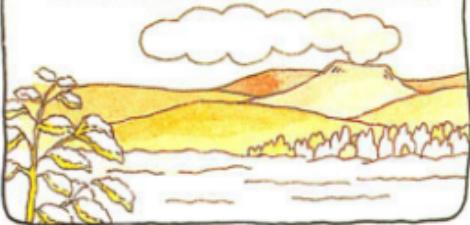
色の異なる土が順に重なっているのを地層と言います。地層は、ふつう下にいくほど古くなります。つまり、土器の年代は、埋まっている地層の年代によって判断されるのです。土器の出てきた場所が山のように残してあるのも、地層の深さを確かめるためです。なお、このほか遺物そのものの年代を科学的に測る方法もあります。



なぜ遺跡は
埋まっているのですか?

火山灰などの堆積が
ひとつの原因です

遺跡が次第に地下に埋もれていくのは、火山の噴火活動が原因の一つです。熊本でも雲仙普賢岳の火山灰が降ったのは最近のことですが、1年にわずか1mm積もるだけでも、長い年月の中ではかなりの深さとなります。ましてや、活発な火山活動では、わずか数日で数mもの火山灰が降り積もった例もあるのです。



穴の中のしきりはいったいなに?

土の埋まりかたを見るため
のものです

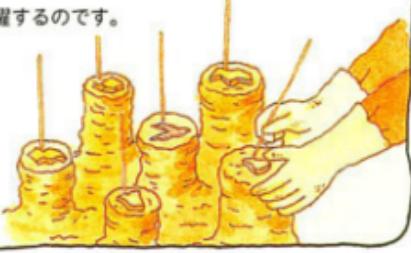
穴を掘るときには、その埋まりかたなどを調べるために、たてよこに土のしきりをしばらく残しておきます。もちろんこのしきりは、穴を掘り終えたあとに、とりはずします。



焼き鳥の串は何のため?

発見された土器の目じるし
とするためです

遺跡を掘っていると、指のツメのように小さい遺物が見つかることがあります。一度掘りだした遺物は、図面や写真に記録するまでは、そのままの場所に置かなければなりませんが、それまで遺物をなくしたり、けとばしたりしないための目じるしとして、焼き鳥の串が活躍するのです。



掘り出したものはだれのもの?

国民みんなの宝物です

みなさんが何かを拾ったらお巡りさんに届けるように、発掘の出土品も、落とし物として警察に届け出しています。しかし、ほとんどの出土品は何百年も何千年も前のものなので、持ち主が見つかることはまずありません。このため多くの場合、出土品は国民みんなの財産(=文化財)となり、研究や展示などに役立てられるのです。



見学や体験発掘をするには

はつ くつ

県内各地で遺跡の発掘調査が行なわれています。

みんなが遺跡の見学や発掘の体験をするにはどうしたらよいでしょうか?

1.

県庁文化課に連絡して、
みなさんの家の近くで
おこなわれている発掘
現場の場所と連絡先を
教えてもらいます。



2.

発掘調査の事務所に連絡をして、都合のよい日
と時間を約束します。



3.

準備をして遺跡に出かけます。ルールを守って、
楽しい学習をしてください。



体験発掘に適した服装

・準備するもの・



文化財マップを作ろう

みなさんの家の近くには、遺跡のほか、
古くから伝えられてきた貴重な文化財があるはずです。
夏休みの自由研究に、文化財マップを作ってみてはどうでしょうか。

地図を準備します。

本屋さんで地図を買ったり、自分で
手書きの地図を作ったりします。

1



2

図書館などで地域の遺跡や 文化財の下調べをします。

図書館や地元の教育委員会にある資料
で、城跡、お寺、神社、石碑、遺跡のある場
所や、めずらしい地名などを調べて、メ
モしておきます。

実際に歩いて調べてみる。

地図の場所をくまなく歩いて、文化財を
確かめよう。スケッチや写真を撮ったり
するほか、おとしよりなどにくわしいお
話を聞いてみよう。

3



4

知られていない遺跡を見つけるには？

土がむき出しになっている場所で、落ちてい
る土器のかけらなどをさがしてみよう。
ながめのよい台地のへりや近くにわき水のあ
る場所などが遺跡を探すポイントです。なお、
拾った土器は、日時や場所などを記録して、地
図に正確な位置を書きこんでおこう。



博物館や資料館に出かけよう

1

展示を見学しよう

地域の歴史や文化について、展示してあります。メモやスケッチをしながらゆっくり見学してみよう。

2

学芸員に質問しよう

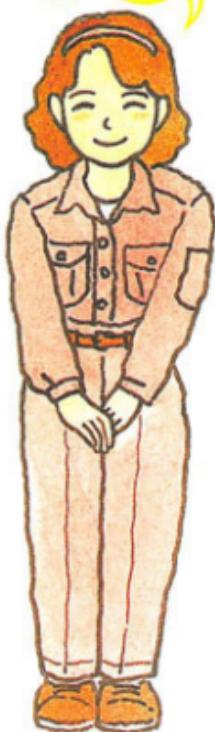
博物館には、学芸員と呼ばれる文化財の専門家がいます。拾った土器や文化財のくわしい話を聞いてみよう。

3

土器作りなどの体験をしよう

土器作りや古代の食べ物作りの実験など、おもしろい活動をおこなっているところもあります。ぜひ参加してみよう。

また、お会いしましょう。



郷土熊本の歴史や考古学に関する質問や疑問は、以下にあげた博物館・資料館や関係施設に問い合わせて見ましょう。

博物館や資料館のお問い合わせ先

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|--------------|
| ■熊本市立熊本博物館 | 096-324-3500 | ■八代市立博物館 | 0965-34-5555 |
| ■山鹿市立博物館 | 0968-43-1145 | ■玉名市立博物館 | 0968-74-3989 |
| ■和水町歴史民俗博物館 | 0968-86-4564 | ■菊池市滔水民俗博物館 | 0968-25-1672 |
| ■合志市西合志歴史資料館 | 096-242-5555 | ■合志市合志歴史資料館 | 096-248-5555 |
| ■城南町歴史民俗博物館 | 0964-28-5962 | ■宇城市小川郷土資料館 | 0964-25-5288 |
| ■天草市立本渡歴史民俗博物館 | 0969-23-5353 | ■天草市立古和歴史民俗博物館 | 0969-33-1645 |
| ■天草市立新和歴史民俗博物館 | 0969-46-2115 | | |

熊本県における考古学関係博物館

- | | |
|------------|---|
| ■熊本県立装飾古墳館 | 〒861-0561 山鹿市鹿央町岩原3085
0968-36-2151 営0968-36-2120 |
| ■菊智城温故創生館 | 〒861-0425 山鹿市菊鹿町米原443-1
0968-48-3178 営0968-48-3697 |

出土品の復原や保管、体験学習などをおこなっている施設

- | | |
|------------|--|
| ■熊本県文化財資料室 | 〒862-0970 熊本市渡鹿3-15-12
096-363-8881 営096-363-8314 |
|------------|--|

このパンフレットについてのお問い合わせ

- | | |
|------------|--|
| ■熊本県教育庁文化課 | 〒862-8609 熊本市水前寺6-18-1
096-383-1111(内線6725)
096-384-7220
E-mail:bunka@pref.kumamoto.lg.jp |
|------------|--|